

I 研究の概要

1 研究主題

自分の思いや考えを伝え合い、地域や世界とつながろうとする児童の育成
～本物で必然性のある外国語活動・外国語科を通して～

2 研究主題設定の理由

(1) 今日の教育課題から

令和2年度から小学校中学年に「外国語活動」が、高学年に教科「外国語」が導入される。その背景となった今日の課題については、平成28年12月に出された「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」では、「グローバル化が急速に進展する中で、外国語によるコミュニケーション能力は、これまでのように一部の業種や職種だけでなく、生涯にわたる様々な場面で必要とされることが想定され、その能力の向上が課題となっている。」とされている。また、この答申の中で、現行の学習指導要領では、文法・語彙等の知識の習得に重点が置かれ、外国語によるコミュニケーション能力の育成を意識した取組が十分に行われていないことも課題として挙げられている。

そこで、平成28年度から音楽・英語特区の指定を受けている本校で、これまで積み重ねてきた実践を基に課題と成果を振り返り、児童が自分の思いや考えを英語で伝え合い、コミュニケーション能力を高めていく姿を目指して、本物で必然性のある外国語活動・外国語科の研究を行うこととした。

(2) 学校教育目標から

本校では「豊かな人間性をもち、実践力のある子どもを育成する」を学校教育目標に据え、新本っ子が伝統的に目指してきた㊦「自分で考える子」㊧「本気で取り組む子」㊨「きまりを守る子」㊩「みんな仲良く元気な子」を子ども像として、日々の教育活動に取り組んでいる。

今年度は特に、「実践力」に重点をあて、自分で考え、「こんなことをやってみたいな。」という思いをもち、主体的に行動しようとする児童の育成を目指している。

外国語活動・外国語科においても、与えられた表現を覚えて使うだけではなく、「こんなことを英語で話したい。」という思いをもち、主体的に活動できる児童を育成したい。そのために、自分の本当の気持ち表現できる言語活動や主体的に活動ができる単元構成を研究の視点とした。

(3) 児童の実態から

本校の児童は生活態度が落ち着いており、学習規律、意欲、態度など集団としての学びの状況は安定し、概ね良好である。また、クラス内や異学年でピア・サポートし合う態度がよく身に付いている。しかし、少人数集団で生活をしているため、児童は互いの情報を十分知り得ており、新たな発見や驚きをもってコミュニケーション活動を行う体験が乏しい。また、地理的にも、異なる背景や体験を有する人々と日常的に交わり、相手との関係性を意識したコミュニケーションを行う場面が少ない。

そこで、外国語活動・外国語科では、クラスメイト、担任、ALT、小中連携担当教員、異学年、他校種、地域の方、留学生などできるだけ多様な人々と英語を使った活動を行い、自分と異なる考えや発想に興味をもち、それらを受け入れ、視野を広げていくことができるような授業を研究していくこととした。

3 研究主題のとらえ方

「自分の思いや考えを伝え合い」とは、児童一人一人が伝えたいと思うものを持ち、それを英語でどう表現すればよいか分かり、双方向に伝え合うことである。「地域や世界とつながろうとする児童」とは、自分の思いや考えを伝え合う楽しさを体験した児童が、次はこんな人に伝えたい、あんな場所で伝えたいという願いを持ち、英語を介して多様な人々と関わり、自分の世界を広げていこうとする児童を表している。また、外国語活動・外国語科を通して育まれた、もっといろいろな人とつながろうとする態度が、今後の生活の中で幅広く生かされてほしいという願いも込められている。

「本物」とは、本当に自分が思っていること、考えていることを伝え合うこと。「必然性」とは、言語活動を行う目的・場面・状況を明確に設定することである。

4 研究仮説

- ① 単元や発達段階の特性を踏まえて言語活動を工夫することにより、児童は、自分の思いや考えを持ち、それを伝え合おうとするであろう。
- ② 学びのつながりを意識して単元（新本オリジナル）を構成すれば、本物で必然性のある言語活動が生まれ、児童は主体的に学習に取り組むであろう。
- ③ HRT（学級担任）、ALT（外国語指導助手）、小中連携担当教員、ゲストティーチャーなど様々な人々と関わることによって、コミュニケーションの楽しさを味わい、より広い世界に目を向けるであろう。

5 研究の内容

（1）言語活動の工夫

1 単位時間の授業内で行われる言語活動の流れを黒板に提示して、児童が見通しをもって活動に取り組めるようにする。ただし、単語や定型文を覚えて唱えるだけの活動やゲームを楽しむだけの活動にならないようにする。そのために、次のような工夫を取り入れ、一つ一つの言語活動に、自分の本当の思いや考えをもてるようにする。

① Greeting

- ☆ 本当の天気、気分をどう表現するかにこだわる。
- ☆ 友達の本当の気分を理解し、反応する。

（1年生でのやり取り）

HRT : How is the weather ? 児童 A : It's cloudy. 児童 B : さっき雨降ったよ。

児童 C : じゃあ、ちょっと Rainy. ALT : Cloudy and rainy. 児童全 : Cloudy and rainy.

② Small Talk

- ☆ 自分が知っていること、本当に体験したことを言う。
- ☆ 即興を楽しむ。
- ☆ 既習表現を使って、言いたいことが伝わったときの喜びを感じたり、言いたかったことを新たに知ろうとする意欲を引き出したりする。

Small Talk の流れ（6年生）

- ① 話題提供（例：“好きな食べ物” “行きたい場所” “Who am I?” “Japanese culture”など）
- ② 担任と ALT，または ALT と小中連携担当教員がやってみせる。
- ③ ペアでやってみる。
- ④ シェアリングする。（“どんな表現使った？” “言いたかったけど言えなかったことは？”）
- ⑤ 新しく出てきた表現をみんなで発音する。
- ⑥ ペアを変えてやってみる。
- ⑦ シェアリングする。（“言えなかったことが言えるようになったか。”）

③ Activity

☆ 自分自身に関する本当の情報や気持ちをやり取りする。または発表する。

☆ 相手の思いや考えを知り，反応し，相手理解を深める。

第1学年「Let's enjoy star festival!～七夕祭りを楽しもう～」でのやり取り



児童は，留学生と七夕祭りを楽しむため，折り紙で飾りをつくった。そこで，自分の好きな色の色紙を留学生からもらうという言語活動を設定した。

留学生：What color?

児童：Blue,yellow and green,please.

留学生：Here you are.

児童：Thank you.

第3学年「ALRHABET～アルファベットクイズをしよう～」でのやり取り



児童は，友達とアルファベットクイズを出し合うという，単元ゴールの言語活動を設定した。そこで，ペアになった友達と一緒に，身の回りからアルファベットの形に見えるものを夢中で探し，クイズの出し合いを楽しんだ。

児童A：What letter is this?

児童B：It's "K".

児童A：That's right! / Close!

④ 中間交流

☆ 活動中に，言いたくなった英語やその場で考えて使った英語について話し合う。

☆ 児童の伝え方のよさや新しい英語表現を全体に広げる。

（6年生での中間交流）

児童A：岡山がどこにあるか説明したい。

HRT：（地図を見せて）京都と広島なら，外国の人も知っているよ。なんて言えばいいかな。

小中連携：5年のとき使った表現があるよ。AとBの間って？ 児童B：Between！

ALT：Between Kyoto and Hiroshima. 児童全：Between Kyoto and Hiroshima.

第6学年「Let's communicate with foreigners during school trip!

～修学旅行でコミュニケーションをしよう～ 単元構成

総合的な学習の時間「修学旅行に向けて」

- 見学場所を調べてしおりにまとめる。

HRT: 京都には、たくさんの外国人観光客が訪れているよ。これまでに身に付けた英語の力を使って話してみよう。



単元ゴールの言語活動

修学旅行で外国人とコミュニケーションをしよう。

English Time

- 修学旅行のインタビューの仕方に慣れ親しむ。

特別の教科 道徳「心を形に」

- 時と場に応じ、礼儀にかなった生活をしようとする心情を育てる。

外国語科 『We can! 2』 Unit 1
「This is ME!」



学校行事「修学旅行」



社会科
「日本とつながりが深い国々」

中学校 外国語科
「What do you ~?」「Where do you ~?」

(3) 広い世界に目を向けるための人との関わりの工夫

友達や担任、ALT、小中連携担当教員らと十分に自分の思いや考えを伝え合うことができた児童は、「もっと話したい。」という願いをもつと考える。その願いを基にして、様々な人々と英語によるコミュニケーションができるような場を設定する。そうすることで、児童は、伝わる喜びや達成感を味わうとともに、関わった相手のことも知ろうとして興味をもち、自分の世界を広げていくことができるだろう。

また、小中連携については、小学校教員が総社中学校の英語の授業を参観したり、小中連携担当教員が小学校の外国語科に参画したりすることで、学びの円滑な接続を図っている。小学校外国語科の授業では、小中連携担当教員が、中学校の英語とどのように結びついていくのかを児童にも伝え、中学校への学びのつながりや広がり意識した学習ができるようにしている。

第1・2学年「I like bananas. ～好きかな?嫌いかな?～」での広がり

1年生だけでゲーム

2年生だけでゲーム

1年生と2年生で



幼稚園児もいっしょに





より広い世界とつながる場面



(4) 日常的に英語に触れる環境作りの工夫

英語や世界の文化などについて日常的に目にしたり、耳にしたりすることで、児童がより英語に親しみを持ち、英語をもっと話してみたい、世界の国々やその文化についてもっと知りたい、という意欲を高められるような環境作りを行う。

英語放送

毎朝 ALT と広報委員会が、挨拶、日付、天気、好きなものなど、慣れ親しんだ表現を使い、やり取りをする。ALT が今日の行事を紹介したり、誕生日児童にメッセージを伝えたりする。

英語朝礼

毎月1回、体育館に全校児童が集まり、ALT の英語による集会活動を行う。ゲームやクイズなど、体験型の活動や外国の文化を聞く活動など、児童が興味をもって参加できる活動を行う。

壁面掲示

全校児童が通る廊下の壁面には、季節を表す絵と単語を記した掲示物や、数字や月など、日常で慣れ親しんでいる英語の掲示物を飾り、毎日児童が目にするようにする。

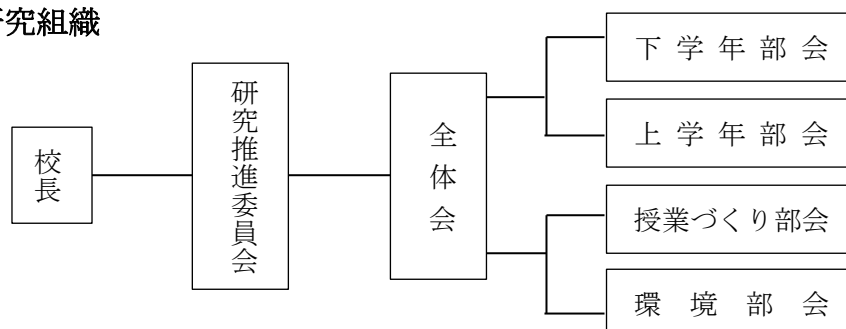
日常で使える英会話

英語の授業外でも日常的に使える英語表現を一覧にして、担任が積極的に使うことで、児童が場面に応じた英語に慣れ親しむことができるようにする。

今週のキーフレーズ

毎週児童朝礼で、週番の先生が「今週のキーフレーズ」を発表する。「Thank you.」や「Good job.」など、その週の目標や行事に合わせて児童が使いやすいと思われるフレーズを選ぶ。

6 研究組織



7 全体構想図



8 研究の経過

(H30年度 : 1年次)

月	日	曜日	研 修 会	内 容
4	4	水	第1回研究推進委員会	今年度の研究計画について
4	6	金	第1回校内研修会	本年度の校内研究について(研究主題・設定の理由・仮説等)
4	25	水	県外先進校視察	国立教育政策研究所教育課程研究指定校 大分県佐伯市立明治小学校
4	27	金	第2回校内研修会	第6学年指導案全体検討会
5	10	木	第1回校内授業研究	第6学年(5校時)授業・研究協議 「Let's Communicate with the foreigners during school trip! ～修学旅行でコミュニケーションしよう～」 『We can!2』Unit1「This is ME!」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生 総社市教育委員会 在間 恭子 指導主幹 総社市教育委員会 合澤 菜穂子 指導主幹
5	16	水	第3回校内研修会	授業づくり部「授業研の単元づくり」 環境部会「教材整理」
5	30	水	第4回校内研修会	第2学年指導案全体検討会
6	6	水	第5回校内研修会	授業づくり部「授業研の単元づくり」 環境部会「英語朝礼」
6	4 ～ 8	月 ～ 金	県外先進校派遣	英語教育強化拠点校 石川県七尾市立田鶴浜小学校
6	13	水	第6回校内研修会	第1学年・第4学年指導案全体検討会
6	19	火	第2回校内授業研究	第2学年(5校時)授業・研究協議 「Let's introduce our vegetables! ～自分たちの野菜を紹介しよう～」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生 総社市教育委員会 在間 恭子 指導主幹 総社市教育委員会 合澤 菜穂子 指導主幹
7	3	火	第3回校内授業研究	第4学年(4校時)授業 「You can enjoy sightseeing.～ふるさと総社を紹介しよう～」 『Let's Try!1』Unit4「I like blue.」 第1学年(5校時)授業・研究協議 「Let's enjoy star festival!～七夕祭りを楽しもう～」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生 総社市教育委員会 在間 恭子 指導主幹 総社市教育委員会 合澤 菜穂子 指導主幹
8	8	水	第7回校内研修会	第3学年・第4学年指導案全体検討・模擬授業 英語スキルアップ研修 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生
8	24	金	第8回校内研修会	第4学年指導案全体検討会

10	16	火	第4回校内授業研究	第3学年（4校時）授業・研究協議 「ALPHABET～アルファベットとなかよし～」 『Let's Try!1』Unit6「ALPHABET」 第5学年（5校時）授業 「Hello,everyone.～赤米について伝えよう in English～」 『Let's Try!1』Unit1「Hello,everyone.」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生
10	30	火	第5回校内授業研究	第4学年（5校時）授業・研究協議 「What time is it?～自分の理想の休日を紹介しよう～」 『Let's Try!2』Unit5「What time is it?」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生
10	31	水	第9回校内研修会	第1・2学年指導案全体検討会
11	7	水	第10回校内研修会	第5学年指導案全体検討会
11	20	火	第6回校内授業研究	第1・2学年（5校時）授業・研究協議 「Welcome to Animal Land.～動物ランドへようこそ～」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生 総社市教育委員会 在間 恭子 指導主幹 総社市教育委員会 合澤 菜穂子 指導主幹
11	21	水	研究会参加	国立教育政策研究所教育課程研究指定校 大分県佐伯市立明治小学校 講演：文部科学省初等中等教育局教育課程課・国際教育課 直山 木綿子教科調査官
12	4	火	第7回校内授業研究	第5学年（5校時）授業・研究協議 「When is your birthday? ～新本オリジナルカレンダーを作ろう～」 『We can! 1』Unit2「When is your birthday?」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生
12	25	火	第2回研究推進委員会	今年度のまとめ
1	15	火	第11回校内研修会	第6学年指導案全体検討会
1	18	金	研究会参加	国立教育政策研究所教育課程研究指定校 京都府京都市立第二朱雀小学校 講演：文部科学省初等中等教育局教育課程課・国際教育課 直山 木綿子教科調査官
1	21	月	第12回校内研修会	今年度のまとめ・次年度へ向けて 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生
1	25	金	研究会参加	香川大学教育学部附属坂出小学校
1	29	火	第13回校内研修会	来年度の研究主題・学年別目指す児童像について
2	5	火	第8回校内授業研究	第6学年（5校時）授業・研究協議 「My best memory～最高の思い出を伝えよう～」 『We can! 2』Unit7「My Best Memory」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生
2	22	金	研究会参加	お茶の水女子大学附属小学校

(令和元年度 : 2年次)

月	日	曜日	研 修 会	内 容
4	4	木	第1回研究推進委員会	今年度の研究計画について
4	5	金	第1回校内研修会	本年度の校内研究について(研究主題・設定の理由・仮説等)
4	22	月	第2回校内研修会	第6学年指導案全体検討会
5	14	火	第1回校内授業研究	第6学年(5校時)授業・研究協議 「Let's Communicate with the foreigners during school trip! ～修学旅行でコミュニケーションしよう～」 『We can!2』Unit1「This is ME!」自己紹介 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生 総社市教育委員会 中原 邦明 指導主幹
5	15	水	第3回校内研修会	第5学年指導案全体検討会
5	29	水	第4回校内研修会	第1・2学年指導案全体検討会
6	4	火	第2回校内授業研究	第5学年(5校時)授業・研究協議 「Welcome to Shimpon,Japan. ～ようこそ新本へ～」 『We can!1』Unit5「She can ran fast.He can jump high.」 『We can!2』Unit2「Welcome to Japan.」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生 総社市教育委員会 中原 邦明 指導主幹
6	12	水	第5回校内研修会	第3学年・第4学年指導案全体検討会
6	18	火	第3回校内授業研究	第1・2学年(5校時)授業・研究協議 「I like bananas.～好きかな?嫌いかな?～」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生 総社市教育委員会 中原 邦明 指導主幹
7	2	火	第4回校内授業研究	第3学年(4校時)授業 『Let's Try!1』Unit5「What do you like?」 ～何が好き?～ 第4学年(5校時)授業・研究協議 「This is my favorite place. ～ふるさと総社を紹介しよう～」 『Let's try!2』Unit8「This is my favorite place.」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生 総社市教育委員会 中原 邦明 指導主幹
7	17	水	第2研究推進委員会	研究発表会に向けて
7	22	月	第6回校内研修会	研究発表会に向けて紀要作成計画・掲示物等分担・単元開発
7	30	火	第7回校内研修会	全学年指導案検討会・部会
8	5	月	研 究 会 参 加	岡山県小学校教育研究会外国語活動部会夏季研修会 講演:文部科学省初等中等教育局教育課程課・国際教育課 直山木綿子教科調査官
8	7	水	第8回校内研修会	全学年指導案検討会 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 福原 史子先生
8	27	火	第9回校内研修会	全学年指導案検討会
10	2	水	第10回校内研修会	下学年模擬授業
10	16	水	第11回校内研修会	上学年模擬授業